

三陸芸能×ART 旅 2024

東北/三陸を「集・遊」する旅

数百年ともいわれる三陸の郷土芸能
虎舞・神楽・鹿踊り・念仏剣舞・太神楽・七福神など
実に多彩で世界でも類をみない。

その芸能とARTが融合した祭典「三陸国際芸術祭」

この東北/三陸沿岸地域は、
縄文から続く人間の営みから生まれた
芸能とARTの宝庫だ。

三陸国際芸術祭の舞台である
青森県八戸市から岩手県陸前高田市までの
全長600km以上にも及ぶ三陸沿岸地域には
15の市町村がある。

その中から東北の青森県八戸市～岩手県宮古市までの
9市町村の郷土芸能やART、景勝地などをご紹介。

旅の始まりは、岩手・盛岡や青森・八戸から、盛岡とそ
の周辺から。
現代ARTをゆっくりと味わいながら、
三陸沿岸の景勝地そして多彩な郷土芸能と出会う。
そんな未知なる鑑賞・体験を
トレーディングカードを集めるように、
自分好みにカスタマイズしてお楽しみください。



三陸国際芸術祭

1/15 八戸市 Hachinohe 市町村

2つの国重要無形民俗文化財
夏「八戸三社大祭」
冬「八戸えんぶり」
主な「郷土芸能」
高段駒踊、加賀美流騎馬打越、鮫神楽、
法皇神楽 など

エリア情報

芸能情報

2/15 階上町 Hashikami 市町村

八戸三社大祭 7～8月
八戸地方最大の山車行事。賑やかな神
車行列と華やかな山車の合同運行が
見どころ。行列には神楽や虎舞、駒踊
などの多彩な出し物も加わり、「八戸
三社大祭の山車行事」として、ユネス
コ無形文化遺産に登録。

八戸えんぶり 2月
えんぶりは年初めに豊作を祈願する
田植節で、八戸地方を代表する冬の
郷土芸能。太夫は馬を象ったといわ
れる鳥帽子を大きく揺らしながら踊
り（揺りと呼ぶ）。揺りの合間に松
の葉と恵比寿舞などの祝儀が演じ
られる。

多様な芸能が根付く奥深さ
主な「郷土芸能」
平内舞踊、平内えんぶり、田代えんぶり、
南部駒踊、鳥屋原えんぶり、道仏神楽など

エリア情報

芸能情報

3/15 洋野町 Hirono 市町村

種市
夏まつり 8月ごろ
洋野町内、種市地域の各地区や職場
などの団体が参加する「山車、みこし
パレード」や「ナニヤドヤラ踊り」
。町内の芸能団体による「郷土芸
フェスティバル」などが行われ、種市
が祭一色になります。

日本最古の盆踊り
「ナニヤドヤラ」、
馬にちなんだ民俗芸能「駒踊り」
主な「郷土芸能」
角床駒踊、中野ふじの会(ナニヤドヤラ)、
おのの地蔵太鼓、和庄神楽など

旧重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」
に数えられている階上町内3つ
のえんぶり組が一堂に会し、一足早
い春を呼び込むえんぶり猫(す)りを
披露。また香りと風味が特徴の階上
名物「階上早生もそば」を堪能できる。

国指定重要無形民俗文化財
「駒踊り」
主な「郷土芸能」
角床駒踊、中野ふじの会(ナニヤドヤラ)、
おのの地蔵太鼓、和庄神楽など

エリア情報

芸能情報

4/15 久慈市 Kuji 市町村

久慈秋まつり 9月
1360年代から続く歴史と伝統を誇る
岩手県最大級のまつりで五穀豊穡や
除災招福を祈願するために行なわ
れたのが始まりとされている。最
大1.2mまでせりあがる豪華な勇
士山車の運行が見られる。

久慈市郷土芸能祭
隔年開催(1月下旬)
久慈市内で伝承活動を行う郷土芸
能団体が一挙に会し、各地域で守
り伝えられた伝統芸能を披露する
「久慈市郷土芸能祭」隔年開催。
久慈の風土に根ざした郷土芸能の
数々を一堂に鑑賞できる貴重な機
会である。

東北地方に広く伝承された
山伏神楽
主な「郷土芸能」
夏井大元天神楽、生平駒踊り、
大津しゃくし舞、山根神楽など

エリア情報

芸能情報

5/15 野田村 Noda 市町村

小正月行事
無病息災や五穀豊穡を祈念し、1月
15日に開催。日中はなまみ舞や大
黒舞等の伝統芸能が披露されるほ
か、どんと焼きや餅つき、団子しば
つくりなど村の伝統行事を楽しむ。
夜には村の若者が鬼の面をつけメ
ンソや毛皮を着た「なもみ」に扮し、村
を練り歩く。

愛宕神社例大祭
野田まつり 8月下旬
村を代表する夏祭り。風流山車、神
輿の運行をはじめ、ステージイベン
トや盆踊り大会、よここいソーラン
などを3日間にわたり開催する。明治
時代には愛宕神社の例大祭として行
われていたとされ、長い歴史がある。

縁起ものの「なもみ」と「大黒舞」
主な「郷土芸能」
大黒舞、なもみ太鼓 など

エリア情報

芸能情報

6/15 普代村 Fudai 市町村

鷺鳥神社
例大祭 5月
大漁成就・五穀豊穡や家内安全など
の祈禱を行うため毎年1月から3月
に行う巡幸が貴重なことから、平成
27年に国の「重要無形民俗文化財」
に指定された鷺鳥神社の奉納が行わ
れる。

ふだい祭り 8月下旬
岩手県北地域に多い駒踊り系風流
山車が練り歩く祭り。例年9月上
旬の3日間にわたり行われる。
御神輿を先頭に最大で10mを超え
の高さに及ぶ山車2基が村内中心部
を練り歩く。

国指定重要無形民俗文化財
「鷺鳥神楽」
主な「郷土芸能」
鷺鳥神楽、ふだい完流太鼓、
ふだい盆踊り など

エリア情報

芸能情報



三陸国際芸術祭
三陸国際芸術祭
各種リンク

三陸沿岸地域は、世界でも類を見ない芸能
の宝庫。三陸国際芸術祭は青森県八戸市から
岩手県陸前高田市にかけて郷土芸能を
軸として2014年にスタートした。現代アー
ティストと三陸各地を彩るアートプロ
ジェクト、インドネシア、韓国、マレーシア
などアジアを中心とした海外芸能団体と
の交流、三陸の芸能が一堂に会する唯一の
芸能祭「三陸雑火芸能祭」等を開催。

7/15 田野畑村 Tanohata 市町村

田野畑村
芸能フェスティバル
隔年で行われる芸能の祭典。村内の
芸能団体など、一堂に会し、日頃の
練習の成果を発表。県・村指定
の無形民俗文化財の芸能のほか創作
太鼓や舞踊も楽しむ。村外からも
芸能団体などがゲスト出演する。

田野畑村産業祭
10月ごろ
田野畑村の特産品の販売や友好
都市(埼玉県深谷市・青森県黒川町)
の物産販売、郷土芸能などのデー
イベント、ワークショップの開催な
ど、田野畑村の秋の祭りの雰囲気を
醸成しながら、家族皆が楽しめる。

全国に2ヶ所だけ、
本物の鹿に見立てた鹿頭の踊り
主な「郷土芸能」
菅窪鹿踊・剣舞、甲地鹿踊、大宮神楽 など

エリア情報

芸能情報

8/15 岩泉町 Iwaizumi 市町村

岩泉町郷土芸能祭
10月ごろ
岩泉町小本地区を中心とした中野
七頭舞などの郷土芸能の披露のほか、
小本地区の特産品などの特産品の販
売や、結婚のおもてなしなどが行わ
れ、大衆好評を博している。毎回たさ
んの来場者で賑わっている。

7つ道具に7つ舞の「七頭舞」
主な「郷土芸能」
中野七頭舞、中島七少舞、教沢念仏剣舞、
釜津鹿踊り など

エリア情報

芸能情報

9/15 宮古市 Miyako 市町村

津軽石郷土芸能祭
11～12月ごろ
宮古市津軽石地区に伝わる郷土芸
能が一堂に会して発表する。津軽石
の芸能は毎年8月16日の福寿神(あ
んは様)の祭りで神輿の御供をする。
この地区は南部陣幕(お)を知ら
れ、大衆を喜ばせ作り地蔵を打ち
立てて踊り歩く。

沿岸部と内陸部の
多彩な民俗芸能
主な「郷土芸能」
黒幕神楽、津軽石さんざ踊り、
田代念佛剣舞、花輪舞子踊り など

エリア情報

芸能情報

10/15 宮古市 Miyako 市町村

津軽石郷土芸能祭
11～12月ごろ
宮古市津軽石地区に伝わる郷土芸
能が一堂に会して発表する。津軽石
の芸能は毎年8月16日の福寿神(あ
んは様)の祭りで神輿の御供をする。
この地区は南部陣幕(お)を知ら
れ、大衆を喜ばせ作り地蔵を打ち
立てて踊り歩く。

表紙(カラー)／宮古市「東角神楽」
撮影：田附勝
(写真家)1974年、富山県生まれ。電飾を施したトラックとそのドライ
バーたちを9年に渡り撮影した写真集「DECOTRUCK」を2007年
に発表。東北の地を足繁く訪ね、自然への畏敬とともにある営みを撮
り続けた作品集「東北」(2011年)で、第37回木村伊兵衛写真賞
を受賞。近年は発掘当時の新聞紙に包まれた博物館などに収められた縄
文土器片を撮影し、折り重なる時間と空間を写し出した「KAKERA」
を2020年に発表。
https://tatsukimasaru.com

表紙(モノクロ)／田野畑村「菅窪鹿踊」
撮影：大石慶子
武蔵野美術大学卒。祭りや盆踊り、伝統芸能、地域文化を訪ね歩く
フォトグラファー。撮影を担当した書籍としては、日本各地の祭りや盆
踊りを巡った「ニッポンのマツリズム」(大石 著/アルテス・パブリッ
シング)、「奥東京人に会いに行く」(大石 著/晶文社)「大韓ロク
探訪記」(長谷川 著/DU BOOKS)などがある。近年で
は地元である東京都武蔵野の農業や暮らしに関する取材・調査も重
ねている。
https://keikoishi.com

design : yamaneco graphics
令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト 三陸国際芸術祭2022 彩
主権 | 三陸国際芸術推進委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 心を、うごかそう。 Art Moves Us All.

11/15 宮古市 Miyako 市町村

津軽石郷土芸能祭
11～12月ごろ
宮古市津軽石地区に伝わる郷土芸
能が一堂に会して発表する。津軽石
の芸能は毎年8月16日の福寿神(あ
んは様)の祭りで神輿の御供をする。
この地区は南部陣幕(お)を知ら
れ、大衆を喜ばせ作り地蔵を打ち
立てて踊り歩く。

12/15 宮古市 Miyako 市町村

津軽石郷土芸能祭
11～12月ごろ
宮古市津軽石地区に伝わる郷土芸
能が一堂に会して発表する。津軽石
の芸能は毎年8月16日の福寿神(あ
んは様)の祭りで神輿の御供をする。
この地区は南部陣幕(お)を知ら
れ、大衆を喜ばせ作り地蔵を打ち
立てて踊り歩く。

